

平成26年度 第3回印西市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成27年3月4日(水)午後2時00分から午後3時20分まで
- 2 開催場所 松山下公園総合体育館 会議室
- 3 出席者 青木和浩会長 富所正史副会長 伊東勝正委員  
齊藤輝一委員 梅澤章子委員 吉野高明委員  
秋山 剛委員 五十嵐靖宏委員 本郷美代委員
- 4 欠席者 齋藤奈智子委員
- 5 事務局 スポーツ振興課 渡邊課長 岩井副主幹 村越主査補
- 6 傍聴者 0人
- 7 会議 以下のとおり

1. 開 会 進行 事務局

2. あいさつ 青木会長

3. 議 題

<議長 青木会長>

(1) 平成26年度体育事業の報告について

- ・平成26年度体育事業(報告)
- ・平成26年度スポーツ関連事業(報告)

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(委 員) 参加人数については、実際に参加した人の数なのか。

(事務局) 市民大会等については、実績報告により、実際に参加した人数で記載しておりますが、総合スポーツの高校総体やラグビー祭については、観客等も含めた人数となっております。

(委 員) 今年度、インターハイ空手道大会の開会式を拝見させて頂き、準備等も含め盛大に開催され、お疲れさまでした。審議会委員としてスポーツ振興の手伝いなど、協力していければと思っておりますが、今後、審議会委員の役割等は何かありますか。

(事務局) 委員の皆様には、ご協力いただける範囲で、お手伝いいただければと思っておりますが、現状としては、様々な大会等を見ていただき、状況の把握に努めていただけるよう、ご案内をさせていただいているところでございます。

(委 員) スポーツ教室を実施して、参加者の感想や連盟等への加入の状況はどうか。

(事務局) 各教室実施団体より実績報告等を提出していただいておりますが、感想や加入状況等については把握しておりません。事務局としては、各実施団体が熱心に教室等を実施しており、次につながる教室となっていると感じております。

- (委員) テニス関係者として、テニス教室について説明させていただきます。次に活かせるよう、教室実施後参加者にアンケートを実施しております。参加者は10代～60代までおりますが、大半の参加者が、楽しんで参加していただいております回数を増やしてほしいとの要望が約7割ございます。今年度までは、天候不順等による予備日を設けていませんでしたが、平成27年度からは予備日を設けることとし、教室の日数を減らさないようにして対応する予定です。しかしながら、公認資格をもった指導員を1コートに1人配置する関係で、現状(12回)より回数を増やすことは厳しい状況です。
- (委員) 空手道教室について、3回教室を開催しておりますが、今年度は各学校に案内を出したため、100人以上が参加していただきました。以前は10人から20人程度の参加でした。ただ、空手道については、同じことを繰り返すことが基本のため、回数を重ねると徐々に参加者が減っていってしまいます。今後はその辺を工夫し、来年度は4回実施する予定です。また、教室を開催すると新たな連盟への加盟者もおりますので教室の実施は良いものと思っております。
- (委員) パークゴルフ教室について、泉公園で実施しておりますが、知名度が低く参加者が少ない状況ではありますが、参加者の3分の1くらいの方が協会に新規加入していただきました。高齢者から子供まで、4世代が行えるスポーツとして、今後普及していきたいと考えております。
- (委員) パークゴルフ教室について、体育協会主体と教育委員会主体の2種類がありますが違いについて教えてください。
- (委員) 8月～10月に行う教室については、パークゴルフ協会が実施し、主に会員の初心者の方を対象に実施しており、参加者については1回100名前後で、初めての方は30名前後でございます。
- (事務局) パークゴルフ教室は、2月～3月については、教育委員会主体で、主に初心者を対象に、広報等で呼びかけて実施しております。2月については、51名の申し込みがありました。3月は、当日の午前中が雨だったため、参加者は31名となってしまいました。
- (委員) パークゴルフとグラウンドゴルフの違いは何ですか。
- (委員) パークゴルフはゴルフ同様、カップに入れて終わりになりますが、グラウンドゴルフは専用のリングが有り、そのリングに入れて終わりになります。材質は違いますが玉の大きさは同じです。
- (事務局) 泉公園パークゴルフ場が完成した際、当時の審議会委員の皆様実際にパークゴルフを体験していただきました。現委員のみなさまにも、パークゴルフの施設や道具について知っていただきたく、今後、体験会等を計画したいと思います。
- (委員) テニス教室の参加者について、前期と後期で分かれており各期60人参加者で120人となっておりますが、他の大会等にあわせ、延べ人数で考えると1日60人×12回となります。
- (事務局) 参加人数の取りまとめについては、大会や教室等が多種多様で人数把握については、統一が難しい状態でございますが、今後検討し理解しやすくしていきたいと思っております。

(2) 平成27年度市スポーツ事業の取り組みについて

- ・平成27年度体育事業（計画）
- ・平成27年度スポーツ関連事業（計画）
  - 事務局説明 —
  - 質 疑 —

(委 員) 関係団体の総会は、いつやるのか。

(事務局) 体育協会については、4月下旬か5月上旬を予定。スポーツ推進委員、スポーツ少年団についても、今後総会を開催し、計画を確定していきます。本日の資料にある計画については、参考としていただきたい。3月中には26年度の報告と27年度の計画をあげてもらおうよう各団体に依頼しています。

(3) その他

- ・平成27年度学校体育施設開放事業について
  - 事務局説明 —
  - 質 疑 —

(委 員) 学校代表の立場から申しますと、学校開放については、長く使用している団体が多いため、どの団体も自立して活動出来ている状況です。27年度については、改修工事が予定されているため、活動の仕方について、団体から相談を受けています。不具合等はなく、年に1度全員が集まって掃除をしてくれるなど、非常に助かっています。

(委 員) 都内では学校を借りること自体困難でありますので、印西市は学校開放を活発に行っており、受け入れる側の学校の理解がある印象を持ちましたので、今後も引き続きお願いしたい。

- ・平成27年度学校プール開放事業について
  - 事務局説明 —
  - 質 疑 —

(委 員) 民間委託はどのようなところに委託するのか。

(事務局) プールでの死亡事故等の新聞記事や報道を受けていることから、管理や警備業務に精通する資格を有した業者を選定し、決定していく予定です。

(委 員) 25・26年度について、監視する方々に市民はいなかったのか。

(事務局) プール開放は平成21年度で中止にした経緯があります。ただ、子供の夏季休業中の体力向上や、議会の請願や要望を受け、試行的に25・26年度は地域の方と連携し、地域の方は監視を、開放に関わる経費については市や学校が持つことにしましたが、夏季休業中の暑い時期でもあり、地域の協力が難しいことから、市が民間に委託して実施することになりました。

(委 員) 実施する学校は決まっているのか。

(事務局) 議会の最終判断を受けた上で、印西地区・印旛地区・本埜地区で平等に開放できるよう決定していきたいと考えております。

(委 員) 年齢制限はあるのか。

(事務局) 小学生以上で、大人も入ることができます。また、人数制限等も行って、実施したいと考えております。

- (委員) 指針を決めるなど、利用の条件を細かくしていく必要があると思います。
- (委員) プール開放に限らず、平成26年度スポーツ事業をやった結果、事故は起きたか。
- (事務局) プール開放事業ではございませんが、他の事業で、注意喚起不足であったり、目の行き届かない場所での報告はございました。スポーツ事業を行う主催者には、必ず保険に加入することを義務付けております。先日行われた高校総体空手道競技でも数件起きておりましたが、学校保険と主催者が加入した保険により、事故が起きた後の事後処理も含め、対応できていると判断しております。
- (委員) 死亡事故はあったのか。
- (事務局) 該当はありません。
- (委員) 用器具などの不備で事故を起こす等、リスクがないように対応してほしい。
- (事務局) テニスコートなどは整備が追いつかないところがあり、施設の瑕疵で事故が起きないように計画的に直していけるように申し伝えているところですが、施設が多かったり、修繕額も高額なため、随時、簡易修理して対応しております。
- (委員) 確かにテニスコートは傷んでいて、苦情をよく聞いています。印西市は他市町から集まりやすい場所であるため、必然的に利用する頻度も高くなっています。気付いた人は市に直接話をさせていただいたり、大会前にはできるだけ直してもらうよう依頼しています。
- (委員) 施設の瑕疵で事故が起きることは良くないことですので、審議会からも更なる整備をお願いしたい。
- (委員) 地域性や頻度が高いこと、他市町から集まりやすい場所ということであれば、修理等のことも含め、色々と考えていくべき時期にきているのではないかと。全てを公で直してそれを使うのが当たり前だという風潮がとても強いので、そのような考えを変えることや話し合いが必要ではないかと思います。
- (委員) 修理の仕方には色々な方法があり、受益者負担が必要であったり、補助金を活用するなど、市が全面的に負担するのではなく、いいアイデア等あれば検討していただきたい。
- (事務局) 利用者からは「料金を上げてでも、いい施設にしてほしい」「本当にダメであればクローズにしてもいい」というご意見もあります。松山下公園の他、学校施設も過渡期に差し掛かっており、どの施設も修繕費がかかっています。先日の学校開放利用調整会議において、開放団体に活動をさせたいが、本来の目的である学校教育の支障になってはいけないため、どうしても修理の時期は夏休み等にやらざるを得ないとお話させていただきました。全てを同時にとはいきませんが、できることから改善していき、皆様にご理解をいただきまして、周知をしていければと考えております。
- (委員) 陸上競技場の芝が凸凹になっているが、競技団体が使用してそのようになっているのか。もう少し丁寧に使用してほしい。
- (事務局) どのスポーツ団体についても同様です。目に余るような状況になっていれば、注意して直すよう指示しています。
- (委員) 他の場所の例をあげると、使用制限をかけたり、使用料に補修費を含めているところもあります。利用者がモラルを持つことが大事だが、使用制限をかけたり、使用料を上げるなど、市内の体育施設の利用の仕方について、考えていく時期にきているのではないかと思います。

・順天堂大学の活動について

(委員) まずは箱根駅伝ですが、残念ながら12位という結果で、予選落ちしました。色々と反省する点がありますが、目標設定タイムに近かったのですが、他の大学の戦力が高かったということでした。テレビを見てくださった方々、応援してくださった方々たくさんいらっしゃいます。青山学院大学がとてつもない記録で優勝しまして、以前、東洋大学が11時間を切ったときには、向こう30年、この記録を超えないだろうと話があったのですが、3年で超えてしまって、学生のレベルが高くなってきている駅伝となっています。ただ、少し光が見えてきているのが、駅伝を走った選手たちが、2月のクロスカントリーで大学生の大会で上位になりまして、彼らは今度、日本代表候補で世界大会にチャレンジしそうで、明るい話題かなと思います。大学では、体操競技は相変わらず強いのですが、今年はサッカー部もかなり強くて、一部のリーグ戦で上位に入っております。意外と知られていませんが、スカッシュも強いです。女性で強い子がいて、団体でも準優勝しており、スカッシュ競技が非常に盛んになってきています。女性アスリート達も頑張っておりまして、バスケットやバレーボールは一部リーグにおりまして、部員数は少ないのですが、頑張っております。最近の明るい話題は、元山の神の今井君が東京マラソンで日本人1位になって、2時間7分というとてつもない記録で、山の神と言われて活躍してから怪我があったりしたのですが、彼は練習ではものすごく強かったのですが、やっと花が開いてきたかなというところで、2015年に北京での世界陸上の有力候補者で、日の丸をつけて日本代表チームとして、マラソンに出してくれるのではないかなと思っております。前回もお話させていただきましたが、北京世界陸上の事前キャンプ地ということで、アメリカチームが順天堂大学で事前キャンプを実施することになりました。かなり前から千葉県と交渉してまして、成田市・佐倉市・印西市が連携をとりながら受け入れをし、先般印西市長へも報告に行き、支援していただくと温かいお言葉をいただきました。その後、すぐにアメリカのオリンピック委員会が現地視察に来たいという話がありまして、順天堂には内々に視察員が来ております。今後も順天堂大学が印西市で出来ることを一生懸命頑張って市民の皆さんに愛されるような大学にしていきたいと思っております。

4. 閉 会